

水ときらめき紀の川館に 団体の来館者がありました

流水調整課 R1.12.6



紀の川大堰の水ときらめき紀の川館に、紀伊コスモス支援学校の皆さんが見学に来られ、当事務所の流水調整課2名が、見学のご案内をいたしました。

紀の川大堰の概要説明から始まり、館内や展望デッキ、魚道観察室をご案内いたしました。

冷たい風の吹く冬晴れの日となりましたが、魚道に向かう途中、カメの親子が日向ぼっこをする姿が見られ、魚道では、大きな鯉の群れやカルガモたちの姿も見る事ができました。

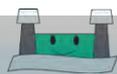
❄️ 団体見学概要 ❄️

日時：令和1年12月6日(金)10:30~11:40

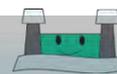
会場：水ときらめき紀の川館

参加人数：8名

団体名：紀伊コスモス支援学校



紀の川大堰概要説明



最初に、職員が大きなスライドを用いていて紀の川や紀の川大堰の仕組み・役割などをクイズ形式で説明しました。

“紀の川大堰4つの役割”に関するクイズでは、積極的に手を挙げて問題に答えてくれました。



魚道の見学



吹く風は少し冷たいものの、青空の広がる晴天に恵まれました。暖かい日差しを浴びながら3種類の魚道を見学し、大きな魚の群れを見ることができました。



紀の川大堰をはさんで、上流側と下流側の水面の高さの違いを確認しました。近くで見ると高さの違いがよく分かります。



魚道観察室の見学



地下にある魚道観察室へ



階段式魚道を横から見るができます。

魚道観察室にある赤いボックスの下には、階段式魚道の段差を上げ下げできる機械があります。その機械を観察室から見るができます。機械の操作に関しては、紀の川大堰管理所内にある操作室から行います。



館内の見学・展望デッキ



窓越しからの操作室



パソコンクイズ！



航空写真



展望デッキ



きらめき館 1F 展示コーナー

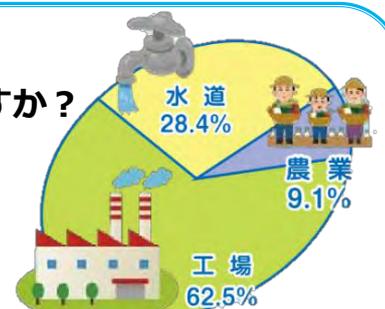
1Fでは、展示コーナー、そして人気のパソコンクイズで自由に過ごしていただきました。このパソコンクイズ、しっかり勉強してからチャレンジしないと全問正解にはなかなかならない難しさです！“きらめき紀の川館”に来て、是非チャレンジしてみてください！そして、2Fにある操作室、3Fの展望デッキもご案内しました。



質問

Q. 紀の川大堰では、どのくらいの水をためることができますか？
その水は、どのように利用されていますか？

A. 総貯水量2,900,000 m³ です。
主な用途は、和歌山市内の工場用水、水道水、農業用水として利用されています。



紀の川大堰全体の用途別水利状況